

担い手確保・経営強化支援事業成果目標の達成状況等について  
(平成28年度補正予算分)

平成28年度に事業を実施した3地区の成果目標に係る平成30年度の達成状況は以下のとおりです。

(単位:経営体、%)

| 成果目標項目   | 目標年度<br>(30年度) | 目標達成状況<br>(上段:計画、下段:実績) |        | 平成30年度<br>の達成<br>状況<br>(%) |
|----------|----------------|-------------------------|--------|----------------------------|
|          |                | 30年度                    |        |                            |
| 必須<br>目標 | ① 売上高の拡大       | 4                       | 4<br>4 | 100.0%                     |
|          | ② 経営コストの縮減     |                         |        |                            |
| 選択<br>目標 | ③ 経営面積の拡大      | 3                       | 3<br>1 | 33.3%                      |
|          | ④ 農業の6次産業化     |                         |        |                            |
|          | ⑤ 農産物の高付加価値化   |                         |        |                            |
|          | ⑥ 経営の効率化       |                         |        |                            |
|          | ⑦ 耕作放棄地の解消     |                         |        |                            |
|          | ⑧ 農業経営の複合化     |                         |        |                            |
|          | ⑨ 農業経営の法人化     |                         |        |                            |
|          | ⑩ 雇用           | 1                       | 0<br>0 | -                          |

◆達成状況に関する本県の対応

目標年度において、事業を実施した3地区のうち、1地区が目標達成、2地区が目標未達成となった。

目標未達成の要因は、地域において大規模開発があったことと、農地が減少していることに加え、委託面積が大きく減少する年であったためである。

今後の対応策はとして、農地中間管理事業を活用することや、経営体のさらなる営業活動により規模拡大を図ることとしている。

県としても、早期に目標を達成し、事業効果が発現できるよう、適宜、進捗状況を確認していく。